

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 2020年 2月 10日

東京都作業部会確認年月日 2020年 2月 12日

事業名 エネルギー費用

案件名 仮設発電機の燃料購入について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> 本案件は、エネルギー費用に係る経費であり、経費分担は、平成29年5月31日の大枠の合意に基づくことが確認できた。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> 組織委員会は、大会においてエネルギー供給に関する責任を持ち、IOC、国、インフラ事業者及び各FAなど、多くの関係者と調整し、コストを縮減しながら準備を進めている。 組織委員会は、各FAが大会中に使用する機器等に対し、確実に電力を供給することが求められている中、電力インフラ、会場内の仮設電源設備及び無停電電源装置の調達等にかかる大会経費について東京都作業部会で確認してきた。 本案件は、競技会場等に設置する仮設発電機の試運転及び停電した際に仮設発電機からの電力供給に必要な燃料の購入契約をパートナー企業である JXTG エネルギー(株)と締結するものである。 これまで IOC の大会運営要件に基づき、コストを縮減しながら調整を進め、既に仮設発電機の発注を実施し、当該設備の管理、施設運営を担う組織委員会が継続的に本契約を進めることにより、効率的で連続性のあるサービスの提供が可能となる。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規	<ul style="list-style-type: none"> 本案件は、開催都市契約大会運営要件のエネルギー要件における「イベントの継続」で要求される大会継続電力の供給を確保するために不可欠であり、仮設発電機の試運転の工程を踏まえ、今般発注が必要であることを確認した。 	開催都市契約大会運営要件 NRG08

<p>模、単価かな ど)、納得性 (類似のもの と比較して 相応かな ど)等の観点 から妥当な ものである こと</p>	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執行見込額について、以下の内容を確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 燃料の単価は、資源エネルギー庁が公表している価格により設定。その他、配送料、給油作業料等は、スポンサーの見積りを採用。 ② 燃料の量は、別途発注する緊急時燃料配送による給油までにかかる時間を考慮し、必要な発電機の稼働時間分を計上。 	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設発電機に必要な燃料について、IOC やスポンサーと協議し、緊急時燃料体制を構築することで外部タンクや貯蔵する燃料を削減するなど、コストの削減に取り組んでいる。 ・ 本案件は、エネルギー供給の信頼性の確保のために必要であり、その発注額の妥当性について確認した。 ・ 調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただきたい。 ・ 3Rについて、検討を進めていただきたい。 	
<p>その他経費の内容 等が公費負担の 対象として適切 なものである こと</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本案件の経費を公費で負担することは適切である。 ・ 大会経費の都の枠内に収まっていることは確認しているが、全体経費についても引き続き削減に努めること。 ・ 都は合意された役割分担に従い、大会経費の都の枠内で負担する。 	

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。